

旭川市地域公共交通会議における地域公共交通確保維持改善事業の概要

事業実施の目的・必要性

旭川市は北海道のほぼ中央に位置し、面積は約748km²、人口は2025年4月1日時点で314,101人である。人口は2000年より減少に転じ、それに伴い市内路線バスの乗車人員も減少の一途をたどっている。一方、市街化区域外では高齢化が進み、「生活の足」としての公共交通の役割は、今後更に重要性が増すことが予測される。

そのため、JRや基幹的バス路線と、これに接続するフィーダー系統(デマンド交通など)を組み合わせることで、公共交通を維持、確保することを目指す生活交通ネットワークの構築を進めているところである。

生活交通確保維持改善計画の目標

人口1人当たりの年間利用回数6.7回

令和7年度米飯線事業概要

米飯地区と東旭川駅周辺間を結ぶ米飯線において、往路4便、復路6便(土日祝は往路3便、復路4便)の頻度でデマンド型交通の運行を行った。

地域公共交通の現況

- ・旭川中央交通(株) デマンド米飯線
- ・旭川電気軌道(株) 72系統
- ・道北バス(株) 65系統
- ・JR北海道(株) 4路線

協議会開催状況

- 令和6年5月13日
令和6年度第1回旭川市地域公共交通会議
ー旭川市地域公共交通計画の承認について
ー地域内フィーダー系統旭川市生活交通確保維持改善計画について
ー生活交通改善事業計画(バリアフリー化設備等整備)について
ー旭川市地域公共交通計画見直しのスケジュールについて
- 令和6年7月17日
令和6年度第2回旭川市地域公共交通会議
ー旭川電気軌道77系統 旭川空港線(急行)の経路変更に伴う一部路線の廃止について
- 令和7年1月7日
令和6年度第3回旭川市地域公共交通会議
ー北海道運輸局補助事業の「地域公共交通確保維持改善事業(デマンド交通型米飯線)」の1次評価
- 令和7年3月26日
令和6年度第4回旭川市地域公共交通会議
ー豊里線及び米飯線の実績について
- 令和7年6月30日
令和7年度第1回旭川市地域公共交通会議
ー地域内フィーダー系統旭川市生活交通確保維持改善計画について
ー生活交通改善事業計画(バリアフリー化設備等整備)について
ー旭川市地域公共交通計画関連事業に係る進捗状況等について
- 令和7年11月25日
令和7年度第2回旭川市地域公共交通会議
ー令和7年度補正予算(令和7年度のフィーダー補助金に係る予算措置)について
- 令和7年1月7日
令和7年度第3回旭川市地域公共交通会議
ー北海道運輸局補助事業の事業評価

別紙3

令和7年度事業の実施状況

1) プロセス、創意工夫

- ・予約時にお迎え到着時刻をお知らせ、予約人数変更の都度お迎え到着時刻変更のお知らせ
- ・運行の際に地域の高齢者の見守りを実施
- ・冬の山道でも運行に支障がないよう主として4WD車使用(ジャンボタクシー・マイクロバス)

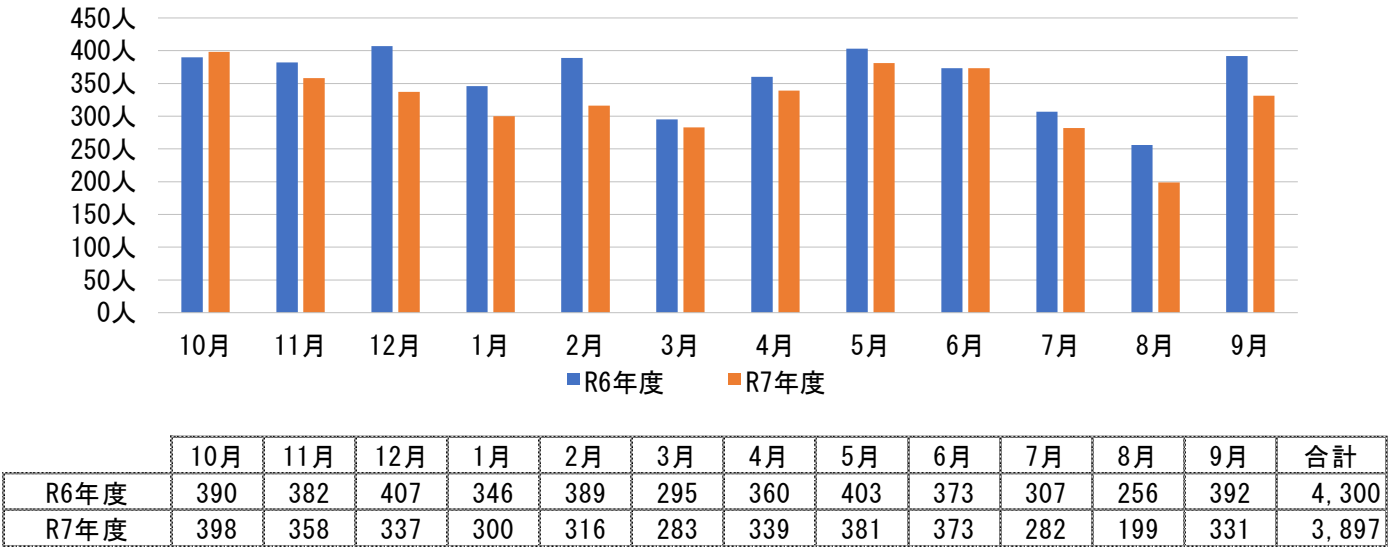
2) 運行系統

東旭川駅周辺施設～東旭川町瑞穂・米原・豊田・東桜岡～旭川21世紀の森

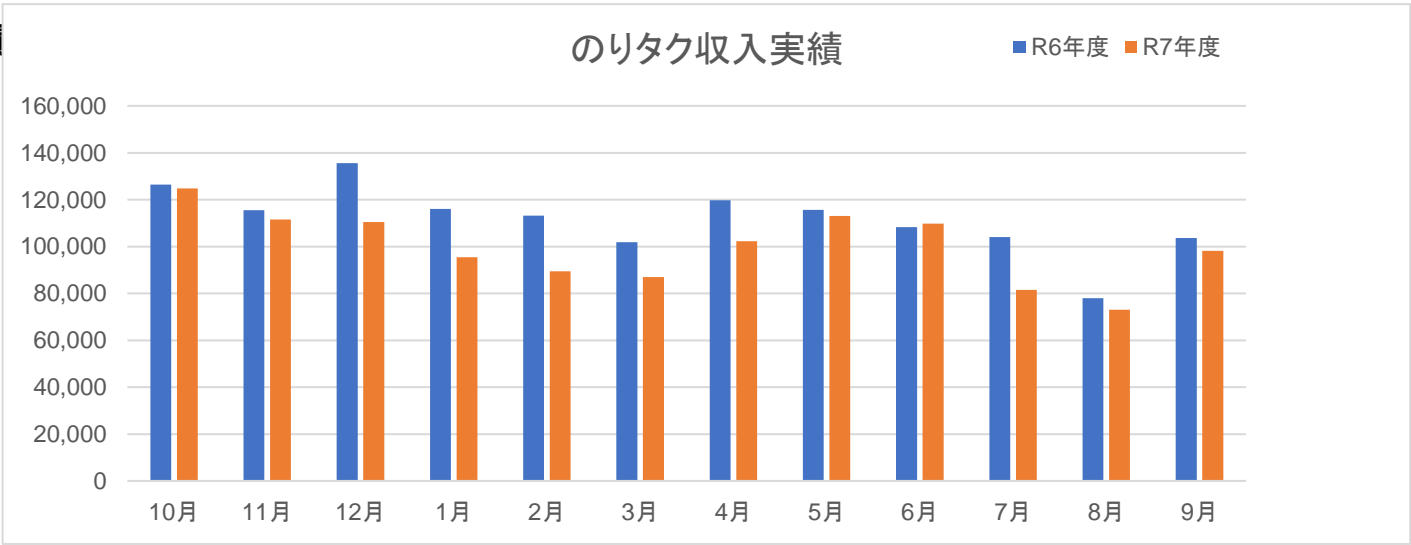


3) 利用実績

単位：人



4) 収入実績



	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
R6年度	126,445	115,456	135,614	116,100	113,235	101,850	119,800	115,647	108,300	104,050	77,984	103,655	1,338,136
R7年度	124,818	111,500	110,455	95,409	89,500	86,955	102,318	113,091	109,773	81,500	73,091	98,136	1,196,546

5)事業実施の適切性

計画どおりの運行がなされ、適切に事業が行われた。

6)目標・効果達成状況

人口1人当たりの年間利用回数実績は6.0回で、通学利用の減少等により、計画に位置付けられた目標の6.7回を下回った。

7)事業の今後の改善点

意見交換会等の取組を通じて、集約された地域意見を基にニーズに合った運行となるよう検討を進める。

8)地方運輸局及び地方航空局における二次評価結果(案)

運輸局記載欄